山陽小野田市　記者発表資料

報道関係各位	発信年月日	令和８年１０月２２日	送付枚数（本紙含む）	３枚
担当部課名	担当課長名	担当者職氏名	連絡先電話番号	
協創部 文化スポーツ推進課	村田　浩	堀田（ほった）　祐菜（ゆうな）	（0836）82-1115	

件名　**初めてでも楽しめる**

「チャレンジ・レッドかるた」教室＆大会を開催します！

内　　容

家族や友だちと楽しめる初心者歓迎の「かるた教室＆大会」を開催します。豪華賞品もあり、毎年人気の文化イベントです。開催について、下記のとおりお知らせします。

記

【かるた教室】

１　日　　時　１１月１４日（土）１３：３０～１６：００（受付１３：１５～）

２　会　　場　赤崎地域交流センター　交流室１（山陽小野田市赤崎一丁目１番１号）

３　内　　容　・きまり字五色二十人一首かるたの赤色の札２０枚を使用します。

・きまり字のおもしろ暗記法、並べ方、札の配列の覚え方

・早取りフォームや競技ルール、競技体験をする予定です。

【かるた大会】

１　日　　時　１２月１２日（土）１３：００～１６：００（受付１２：４５～）

２　会　　場　本山地域交流センター　交流室１・２（山陽小野田市大字小野田２７５－２）

３　内　　容

・ルールを確認した後、練習試合を行い、その後に優勝決定戦を行います。

・試合は最大５試合を予定しています。（参加人数によって調整）

・優勝者には、ギフト券５，０００円分を贈呈します。参加賞もあります。

・参 加 費　無料

・対　　象　幼稚園児から大人まで。初めての方でも気軽に参加できるよう、かるた協会の会員が競技ルールや札の取り方を丁寧に説明します。

・講　　師　山陽小野田かるた協会会員

・主　　催　山陽小野田市

・共　　催　山陽小野田かるた協会

・問合せ先　山陽小野田市文化スポーツ推進課　電話 0836-82-1115（文化振興係）

FAX 発信者：山陽小野田市協創部シティセールス課
電話（0836）82-1148　FAX（0836）83-9336

はじめての **チャレンジ・レッド**

競技かるた体験会

取れてうれしい
気持ちを体験しよう



教　室（基本＆フォーム）

11月14日（土）
13:30～16:00

赤 崎 地域交流センター

- スピードに慣れる練習（決まり字）
- 札を“かっこ良く取る”
  基本を有段者がやさしく指導



大　会（練習成果戦）

12月12日（土）13:00～16:00

本 山 地域交流センター

- 五色二十人一首かるたの
  赤色の札２０枚を使用
- 参加賞＋上位入賞者に
  豪華な景品をプレゼント



参加費 無料

▼お申し込み（9/7（月）～10/31（土）まで）

※申込みが多数の場合は前倒しして終了する場合があります。

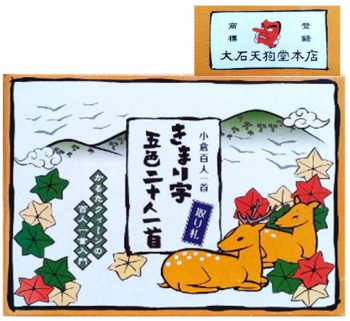
参加資格：この大会で優勝経験のない方、
他のE級以上の大会に出場経験のない方
★親子参加・かるた協会入会、大歓迎★
対　象：幼稚園児～大人まで
（部門分けをする場合があります。）
持ち物：飲み物、動きやすい服

お問合せ
山陽小野田市 文化スポーツ推進課
文化振興係（TEL）0836-82-1115

主　催　山陽小野田市
共　催　山陽小野田かるた協会

練習会場はこちら（山口かるた会）
https://www.yamaguchikaruta.com/

【きまり字五色二十人一首　赤色20枚】



教室と大会では、赤色の札を使います。

教室では、下の10枚を使って練習します。
（時間があればさらに10枚を増やし、20枚に挑戦します。）

あらかじめ札を覚えておくと、教室がより楽しくなります！

読み札（上の句）

ち・ちはやぶる かみよもきかず たつたがは	ち・ちぎりおき させもがつゆを いのちにて	ち・ちぎりき な かたみにそでを しぼりつつ	し・しのぶれど いろにいでにけり わがこひは	し・しらつゆに かぜのふきしく あきののは	も・もろともに あはれとおもへ やまざくら	も・ももしきや ふるきのきばの しのぶにも	む・むらさめの つゆもまだひぬ まきのはに	せ・せをはやみ いはにせかるる たきがはの	め・めぐりあひて みしやそれとも わかぬまに
からくれな ゐにみづく くるとは	あはれこと しのあきも いぬめり	すゑのまつ やまなみこ さじとは	ものやおも ふとひとの とふまで	つらぬきと めぬたまぞ ちりける	はなよりほ かにしるひ ともなし	なほあまり あるむかし なりけり	きりたちの ぼるあきの ゆふぐれ	われてもす ゑにあはむ とぞおもふ	くもがくれ にしよはの つきかな

取り札（下の句）

大会では、下の10枚を含む20枚を使って試合を行います。
上位入賞者には豪華賞品をご用意しています！



読み札（上の句）

ゆ・ゆふされば かどたのいなば おとづれて	ゆ・ゆらのとを わたるふなびと かぢをたえ	ひ・ひとはいさ こころもしらず ふるさとは	ひ・ひともをし ひともうらめし あぢきなく	ひ・ひさかたの ひかりのどけき はるのひに	う・うかりける ひとをはつせの やまおろし	う・うらみわび ほさぬそでだに あるものを	つ・つきみれば ちぢにものこそ かなしけれ	つ・つくばねの みねよりおつる みなのがは	す・すみのえの きしによるなみ よるさへや
あしのまろ やにあきかぜぞふく	ゆくへもし らぬこひのみちかな	はなぞむかしのかにほひける	よをおもふゆゑにものおもふみは	しづごころなくはなのちるらむ	はげしかれとはいのらぬものを	こひにくちなむなこそをしけれ	わがみひとつのあきにはあらねど	こひぞつもりてふちとなりぬる	ゆめのかよひぢひとめよくらむ

取り札（下の句）